

国分寺市一般廃棄物処理基本計画（案）パブリック・コメントの意見について

1 意見の数

- ・意見をお寄せいただいた方の数：5名（個人・団体〇）
- ・お寄せいただいた意見の数：5件
- ・計画に反映する意見の数：0件
- ・計画に反映済の意見の数：1件

※反映状況について  
 有：計画に反映する意見  
 無：計画に反映しない意見  
 済：計画（案）に反映済みの意見

2 意見の概要

No.	項目	意見の概要	市の考え方	反映状況
1	家庭ごみ（収集体制等）（P6）	粗大ごみの収集依頼の期限が、毎週末の1日だけに限られるため、地区により2週間近く収集まで待たされる。 地区毎に期限は同じ条件に揃えるべきと考える。	ご意見については、今後、粗大ごみの収集地区や収集曜日を見直しする際に参考とさせていただきます。	無
2	食品ロス削減に向けた対策の実施（P31）	小学校給食において、大手メーカーの紙パック牛乳が提供されているが、昨年まで在住していた近隣市では、小学校給食にビン牛乳が採用されており、牛乳の廃棄・飲み残しはもちろんごみ減量削減につながっていた。 一方、国分寺市では飲み残しが多いと聞いている。今後のごみ量削減のために、紙パックからビンへの採択がすすめられることを提案する。	市内の小学校給食で提供している紙パック牛乳の処理については、各小学校から資源物として出され、適正にリサイクルされています。牛乳容器の変更については、参考として関係部署と共有させていただきます。	無
3	（仮）プラスチック廃棄物一括収集及び有料化の実施（P34）	物価上昇で厳しい家計に、更に負担を強いることになる。 減免制度を受けられない程度の人ほど、既に負担増が身に染みている。 現在、容器包装プラスチックを洗浄して出しているが、下水を増やしてリサイクルに回すことに疑問を感じてきた。 プラスチックごみは、現代の生活では減らすにも限界がある。	資源プラスチックについては、本計画で示しているように、世界規模の環境問題に対応するために、更にプラスチック類の発生抑制、分別によるごみの減量、資源化の促進を図る必要があります。資源プラスチックの一括収集及び有料化の実施に向けては、引き続き丁寧な周知と説明を行ってまいります。	無
4	（仮）プラスチック廃棄物一括収集及び有料化の実施（P34） （3）ペットボトルの水平リサイクルの継続（P35）	ごみを減量し、資源となるものを再資源化することで、環境負荷をなくすことを行政と市民が協力していくことに大賛成である。 そのためにも、市民が分別したものがどのように資源化されるのかを分かりやすく開示することが大切であり、市民が正しい分別をすることへの意欲にもつながる。	ご意見については、P29 5ごみの減量・資源化計画において示しています。今後、啓発を実施する際は、いただいた意見を踏まえ取り組んでまいります。	済
5	（仮）プラスチック廃棄物一括収集及び有料化の実施（P34）	資源プラスチックごみについて、現在はきちんと分別して、リサイクルされているものだとして出している。 それなのに、これから有料化して全て燃やすなんて、時代に逆行している。 ごみ処理・資源化の方向性を含め、有料化という市民の負担増の両面で反対する。	資源プラスチックの処理につきましては、現在、（公財）日本容器包装リサイクル協会を通じ再資源化（リサイクル）を行っております。 また、資源プラスチックの一括収集及び有料化を実施した後も処理方法は変更ありません。資源プラスチックの一括収集及び有料化の実施に向けては、引き続き丁寧な周知と説明を行ってまいります。	無